決　議

一、厳しい国際競争の中、我が国の経済成長と国際競争力の強化、強い地域経済の構築のため、日本成長戦略や地域未来戦略等も踏まえ、成長投資として、国内投資拡大や生産性向上につながる高規格道路の未整備区間の解消や、産業拠点へのアクセス道路の整備など、道路ネットワークの機能強化を図ること

一、令和八年熊本地震や、令和八年八月千葉豪雨をはじめ全国各地で相次いだ豪雨・台風では、災害に強い道路ネットワークの重要性が改めて認識されたところであり、国土強靭化実施中期計画を踏まえた関係予算については、危機管理投資による強い経済の実現の観点も踏まえ、通常道路予算とは別枠で、必要な予算を満額確保すること

一、八潮市の道路陥没事故も踏まえ、道路の安全・安心の確保に向け、予算や体制面の支援を充実させ、橋梁、トンネル、舗装などの老朽化対策を推進すること

一、道の駅の機能強化や無電柱化、交通安全対策、自転車利用環境の整備、事業評価の見直しなどを推進すること

一、カーボンニュートラルの推進やドライバー不足への対応等のための渋滞対策、休憩施設や交通結節機能の強化などを推進すること

一、高速道路料金について、利用に応じた公平な料金制度を基本としつつ、事業者向け割引を継続するとともに、観光需要の分散・平準化のための料金割引の見直しを実施すること

一、有料の高速道路について、料金徴収期間の延長による財源を活用した機能強化を確実に進めるとともに、国管理の無料高速道路において、維持管理を確実に実施するため、有料制度の活用など、安定的な財源の確保について、地域の意見も踏まえて検討すること

一、大規模自然災害に即応するため、地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと

これらの項目を踏まえ、国民の命と暮らしを守り、日本列島を強く豊かなものとしていくため、近年の資材価格等の高騰、建設業における人件費の上昇等の影響を十分に踏まえ、計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、『「強く豊かな日本」投資枠』の活用及び新たな財源の創設等により、道路関係予算については、所要額を満額確保すること。

令和八年十一月四日

安全・安心の道づくりを求める全国大会